

2021年1月8日

学校法人敬心学園 日本福祉教育専門学校

2020年度 第1回学校関係者評価委員会 議事録

日時：2020年12月21日（月）14：47～16：07

場所：日本福祉教育専門学校 本校舎3階 131 教室

出席者：（委員）

松山 慎司（社会福祉法人 西東京市社会福祉協議会）

肥後 義道（府中市役所）

大竹 宏和（社会福祉法人 豊島区民社会福祉協議会）

小内 仁子（医療法人社団イーボイス 新宿ボイスクリニック）

志村 敬親（中野区精神障害者地域生活支援センターせせらぎ）
（学校）

大谷 修（日本福祉教育専門学校 校長）

石川 秀志（日本福祉教育専門学校 教務部長）

東 康祐（日本福祉教育専門学校 学生副部長）

中嶋 裕之（日本福祉教育専門学校 事務次長）

萬崎 保志（日本福祉教育専門学校 教務担当次長）

後藤 健（日本福祉教育専門学校 学務課・書記）

（敬称略）

【議題】

1. 大谷校長挨拶

高卒生・大卒生・社会人・主婦・留学生など、多様な学生ひとり一人に寄り添い、成長を促す「テラーメイド教育」の提唱と「日福ビジョン2025」の概要を紹介。

2. 委員紹介・委員長選任

委員長の選出を諮ったところ、満場一致で松山慎司氏が委員長に選任された。

3. 令和元年度の学校関係者評価に臨むに際して

昨年度までは、自己点検自己評価や学校関係者評価で炙り出された課題に対して「誰が・いつまでに・どう取り組むか」について明確になっていなかったため、最適な改善が図れていなかったと捉えている。そこで今年度、執行体制の見直しを行い、各課題を明示した上で、

担当部署・担当者を明確化し、全教職員に周知した。(中嶋)

4. 令和元年度 自己点検自己評価・学校関係者評価結果に関する意見交換

「専門職人材の養成にあたり学校の”財産”である卒業生と関わり合いをより深めていくことが重要と養成校として考えている。特に卒業生との関係強化について意見交換を行い「たい」との提案が学校よりなされ、承認された。

〈意見交換①〉卒業生との連携体制の構築について

- ・現状では、学校から卒業生へのアプローチがあまり感じられない。(委員)
⇒卒業生との連携を深めるための仕掛け作りが課題であると感じている。是非、ご指導いただきたい。(石川)

- ・現場で働いている側の目線からすると、求人を出す際「日福の卒業生だと同じ教育を受けてきているため『ある種の”共通言語”』を持っている」といった安心感がある。
専任教員による卒後教育(勉強会)も行われており、それがネットワーク構築の機会にもなり、成長意欲のある卒業生と学校を繋げるきっかけになると思う。(委員)

- ・一卒業生の意見として、クラスの同期はネットワークを構築する最初の機会となった。ソーシャルワーカーはネットワークが重要であることを踏まえると、コロナ禍で対面授業の比率を向上させる(学生同士の対面の交流を増やす)ための取り組みはあるか。(委員)
⇒・自宅学習にするのではなく、ソーシャルディスタンスを確保するために教室内の学生数を半数に減らしサテライト方式で授業を行っている。登校させて学生同士の交流の機会を保っている。(東)
・対面が再開した際に、それまで学生から多数寄せられていたメールでの質問や意見が、一気に減った。(中嶋)
・令和3年度は通常の登校型に戻して授業運営をしていきたい。ただ、学科によっては、オンライン授業を運営していくにも関係機関の方針に則る必要があり、学校の裁量に委ねられているわけではないため、状況に応じ柔軟に対応する必要がある。(萬崎)

- ・卒業生に対して、Google フォームなどを活用して協力調査をしてみてもどうか。
実習先に卒業生がいれば、実習巡回の際に協力依頼する方法もあると思う。(委員)

- ・協力者の掘り起こしを検討してほしい。施設長になっている者はアナログ世代が多い。(委員)

- ・学科・コース毎に卒業生との連携を図ればハンドリングしやすいと思う。卒業時に、卒業生ネットワークに入るよう周知されているところとないところがあるのが実情。(委員)
⇒SNS を利用するなど、卒業生ネットワークを構築するための仕組みを検討する必要があると感じる。(中嶋)

〈意見交換②〉 中途退学低減を目的とした在学時学生支援について

- ・退学についての実態を知りたい。入学前から進路とのミスマッチはなかったのか。(委員)
⇒入学前からか実際に学んでみたらかはケース・バイ・ケースで両方とも存在する。退学理由に「進路変更」と申し出てくることがあるが、真因を探ることが今後の中退防止に係る課題のひとつと捉えている。(萬崎)
- ・留学生の進路は、国内の介護施設に就職するのか。それとも母国に戻るのか。(委員)
⇒・国内の介護施設と連携しているため、ほぼ国内の介護施設に就職する。(萬崎)
 - ・課題としては、23 区外の介護施設は留学生の受け入れに前向きだが、23 区内の介護施設は留学生の受け入れに消極的であること。日本人学生よりも成績がよい留学生もおり、留学生への理解を深めてもらうよう地道な啓蒙活動が必要と感じる。(中嶋)
 - ・少数ではあるが、大学進学希望で不合格となった留学生が出願してくることがある。こうした学生は中退リスクが高いため入学面接で見定めている。(中嶋)

5. その他、委員からの意見

- ・評価が低かった項目の改善に努めて欲しい。
- ・財務体質が健全なことは非常に良い。
- ・コロナ禍の影響はあると思うが学科新設の構想については進めてほしい。

6. 終わりに

今年度はコロナ禍の影響により、第 1 回委員会開催が例年よりもかなり後ろ倒しになったが、第 2 回は 3 月に開催する予定。次回は抽出した課題に対してどれだけ取り組めたか、また、卒業生との連携体制構築の進捗について報告する。(中嶋)

【付帯事項】

令和 2 年度以降の取り組みにはなるが、コロナ禍での学習についての意見交換も行われ、感染リスクを回避しつつ対面授業をなるべく確保するべきとの認識が共有された。

〈意見交換③〉 コロナ禍での学習について

- ・ 4 月に緊急事態宣言が出された際の対応について（中嶋）

■社会福祉士養成(学)科と精神保健福祉士養成(学)科

Nippku Study (=LMS) を活用して、4 月からオンデマンド授業を開始した。緊急事態宣言が解かれた後の 7 月以降は、三密を避けるため講義映像をリアルタイムで投写するサテライト教室を併用した形式で、対面授業を開始した。

■言語聴覚療法学科

GW 明けの 5 月から Nippku Study を活用したオンデマンド配信+レポート提出。7 月以降は、三密を避けるために、講義映像のリアルタイム配信による自宅学習と対面授業を組み合わせたハイブリッド型の授業形式に移行。

■介護福祉学科

前期はオンデマンド授業を展開。後期より対面授業を開始。

■ソーシャル・ケア学科

4 月からいち早く ZOOM を活用した双方向授業を導入。7 月からは対面授業を開始。

- ・ 試験はどのように実施しているのか。（委員）

⇒緊急事態宣言が解かれた後ということもあり、対面で実施した。（萬崎）

- ・ 教鞭を執る身として、オンデマンド動画を作成したことで、通常の対面授業では学生の反応を見ながら講義を組み立てていたことがよくわかった。そういう意味では、資格取得の予備校ではなく、専門職人材の育成を念頭に置き、授業の「質」を保つための工夫や学生へのフォローは必要と考える。（委員）

- ・ オンライン授業を行うにあたり、PC を持っていない学生もいると思うが、特に留学生への学習フォローはどうしているのか。（委員）

⇒登校させて PC ルームを利用してもらった。東京都介護福祉士等修学資金を利用している留学生の場合、保証人となっている法人の協力のもと、法人の施設内の wi-fi を利用させて頂いたケースもあった。（中嶋）

- ・ 学生から自宅学習を強いられることなどによるメンタル面のフォロー要望はあったか。（委員）

⇒表立ったものはなかった。なお、メンタル面へのフォローについては、学内の人間が

関わることに懐疑的な意見があったため、令和2年度から外部のカウンセリング企業によるフォロー体制を敷いている。(東)

- ・コロナ禍により定員充足率に影響はあるか。(委員)

⇒精神保健福祉士養成学科、精神保健福祉士一般養成課程(通信)が昨年同時期に比べ充足率が低い、通学部・通信教育部共にそれ以外の学科・コースにおいては著しい影響は見られない。(中嶋)

- ・学生を多く抱える通信教育部の実習に関しては、学生の安全と、受入先の施設・利用者様の安全と、状況により施設実習に行ける人と行けない人を発生させてはいけないという観点からも、3学科一律でオンデマンドでの学内実習にした。

実習地に赴いて実際の現場に入ることができず、動画学習がメインではあったものの、オンデマンドだからこそ「複数の施設の利用者様と関わりを持つ」ことができ、学生からは好評であった。

学内実習の質を担保できたことは、偏に卒業生がいる施設の協力があったからこそ。つくづく卒業生の大事さを感じた。卒業生との連携を深め、目に見えない卒業生のネットワークを形にして、大きくしていくことが課題だと思う。(石川)

以上

(文責：日本福祉教育専門学校 後藤 健)

2020年度日本福祉教育専門学校 学校関係者評価 評点一覧

2019年度自己点検自己評価（2019年4月1日～2020年3月31日）による

学校関係者評価について

学校が実施した自己点検自己評価の結果が適切であるかについて、外部評価委員による学校関係者評価を行い、その客観性や透明性を高める評価。

（評価のポイント）

- ・自己評価結果の内容が適切か
- ・自己評価結果を踏まえた今後の改善方針が適切か
- ・学校の重点目標や評価項目等が適切か
- ・学校運営の改善に向けた実際の取り組みが適切か

<評点一覧>

大項目	評価項目	自己評価 4..適切 3..ほぼ適切 2..やや不適切 1..不適切	学校関係者評価委員平均 3..優れている 2..適切 1..改善が必要
1 教育 理念 ・ 目的 ・ 育成 人材 像	1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	3	2.8
	1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4	
	1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4	
	1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	3	
2 学校 運営	2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	3	2.8
	2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	4	
	2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	4	
	2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	3	
	2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	3	
	2-6-1 意思決定システムを整備しているか	4	
	2-7-1 情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	3	
3 教育 活動	3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	4	2.6
	3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	4	
	3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4	
	3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	2	
	3-9-3 キャリア教育を実施しているか	3	
	3-9-4 授業評価を実施しているか	3	
	3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	4	
	3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	4	
	3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	4	
	3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	4	
	3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	3	
	3-12-2 教員の資質向上への取り組みを行っているか	4	
	3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	4	
4 学 修 成 果	4-13-1 就職率の向上が図られているか	4	2.8
	4-14-1 資格・免許の取得率の向上が図られているか	4	
	4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	4	

5 学生支援	5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	4	2.4
	5-17-1 退学率の低減が図られているか	3	
	5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	3	
	5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	4	
	5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	4	
	5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	3	
	5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	4	
	5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	4	
	5-20-1 保護者との連携体制を構築しているか	4	
	5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	4	
	5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	4	
	5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	3	
6 教育環境	6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	3	2.2
	6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	4	
	6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	3	
	6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	2	
7 学生の募集と受入れ	7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	3	2.4
	7-25-2 学生募集を適切かつ効果的に行っているか	4	
	7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	4	
	7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	3	
	7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	4	
	7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	4	
8 財務	8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	4	3.0
	8-28-2 学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	4	
	8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	4	
	8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	4	
	8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	4	
	8-31-1 私立学校法に基づく財務公開体制を整備し、適切に運用しているか	4	
9 法令等の遵守	9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	3	2.0
	9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	3	
	9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	3	
	9-34-2 自己評価結果を公表しているか	4	
	9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	3	
	9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	4	
	9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	4	
10 社会貢献・地域貢献	10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3	2.6
	10-36-2 国際交流に取り組んでいるか	3	
	10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	1	

2020 年度学校関係者評価報告に対する委員 & 学校コメント

～【質問】篇～

【基準1 経営理念・目的・育成人材像】

1-1 理念・目的・育成人材像

質問
<p>【委員】</p> <p>(1.) 参考資料の箇所では敬心ジャーナルは該当しないのでしょうか。</p> <p>(2.) 評定が昨年は4だったが今回3になった理由とは。</p>
回答
<p>【学校】</p> <p>(1.) 1-1-3の参考資料に敬心・研究ジャーナルを追加させていただきます。</p> <p>(2.) これまで自己評価・学校関係者評価を実施してきましたが、炙り出された改善点に対しアクションに繋がられていない部分があり、今年度は厳しい見方で学校を再評価したためです。</p>

【基準2 学校運営】

2-2 運営方針 / 2-3 事業計画 / 2-4 運営組織 / 2-5 人事・給与制度 / 2-6 意思決定システム / 2-7 情報システム

質問
<p>【委員】</p> <p>(1.) 2-4-1 <質問> 「現状の取組状況」の、感染拡大により「事務職員の配置を大きく見直すきっかけ」とあるが、コロナ禍において配置の見直しで強化したことは何か？（例・オンライン配信部門の強化、在宅学習中の学生との連絡・相談体制の強化等）</p> <p>(2.) 2-5-1 <質問①>人事考課制度での評価者は誰か（役職等） <質問②>評価と報酬の連動を止めているとのことであるが、学校と教職員との目標管理・共有や、モチベーションの管理に資する評価方法となっているか。</p> <p>(3.) 学内の委員会について、昨年度は5つだったが今年度は4つになっておりますが、統合されたのですか。</p> <p>(4.) コロナ禍により学校運営において、働かされている職員の皆さまにどのような影響があり、対策をどのようにとられているのか教えて下さい。</p>
回答
<p>【学校】</p> <p>(1.) 人事異動を行いオンライン配信部門の強化、在宅学習中の学生との連絡・相談体制の強化を図りました。</p> <p>(2.) <質問①>組織長です。 <質問②>各学科・部署に応じた目標管理のあり方から見直し、評価方法についても検討中です。</p> <p>(3.) 入試・広報委員会は廃止。各学科でターゲット層や募集活動の山場、課題感等が異なるため、学科を一同に集めた定期開催では報告会にとどまり、戦略的な協議に至らない部分があったため、入試担当と各学科が状況に応じて会議を開くこととしました。</p> <p>(4.) 外出自粛によりテレワークを一時期行ったことや、行事の中止、時間割の組み替え、オンライン授業の導入など業務が増えた部分もありましたが、6月から通常勤務を再開し、学園の新型コロナウイルス感染拡大防止のガイドラインに基づき、手洗い・消毒・検温を徹底し、教職員・学生の体調に変化が見られた場合の対応フローをまとめる等の対応を行っております。</p>

【基準3 教育活動】

3-8 目標の設定 / 3-9 教育方法・評価等 / 3-10 成績評価・単位認定等 / 3-11 資格・免許取得の指導体制 / 3-12 教員・教員組織

質問
<p>【委員】</p> <p>(1.) 【基準3全般として】</p> <p><質問></p> <p>介護福祉学科において、看護師や理学療法士等との基礎課程の共通化に向けた、対応・検討はされているか。</p> <p>(2.) 3-9-2「課題の改善方策」</p> <p><確認></p> <p>招聘する外部委員を増やす（2019年度は外部委員2名）</p> <p>→2019年度は外部委員12名が出席して、学校評価委員会を開き、その後、担当学科に分かれ、教育課程編成委員会を開催していたのではないか。</p> <p>(3.) 授業アンケートの見直し時期、活用の方法はどのようにしておりますか。</p> <p>(4.) 評定について昨年は3だったところ、今回2となった理由とは。</p> <p>(5.) 3-12-1 学校HPに教員情報が載っているのでしょうか？大学と同じような形式（専門領域・キャリア・学生メッセージ）にすると学生の学校選択の際、効率的では。</p> <p>(6.) 外国からの留学生受け入れにおいては、日本語学校等での教育を受けた後に入学されている方が多いのではないかと思います。資格取得のために学習内容等を適切に伝えることの難しさをどのような場面で感じていらっしゃいますか。</p> <p>(7.) 21ページ中項目総括の中で、「学生の興味関心レベルや意欲も多様化しており、希望の就職先や将来像も多様化している」との表記があります。この「就職先や将来像の多様化」という部分では、新たな視点で行う事業やベンチャービジネス等の部分も含まれていますでしょうか。</p>
回答
<p>【学校】</p> <p>(1.) 制度設計の構想で止まっており、対応できない状況にあります。</p> <p>(2.) 今年度以降は学内規定に則り要件に従い厳密に運用することにしました。</p> <p>(3.) 学園共通の授業アンケートを利用し、学科長と各担当教員とで結果を共有し次年度授業に活かしておりました。今年度についてはコロナ禍の影響があり、遠隔教育に関する内容を盛り込んだアンケートに切り替えました。</p> <p>(4.) (2.)にあるように本来のあり方で運用できておらず立て直しを図る必要があると判断したためです。</p> <p>(5.) 現状は非掲載にしております。年齢層や男女比については掲載する予定です。掲載（顔出し）を嫌がる教員もいるため、教員情報の掲載についてはバランスをとって対応致します。</p> <p>(6.) 日本語学校経由の留学生は日本語能力試験N3程度でも受け入れております。日常生活に支障がないとされるN1～N2レベルでも、実際に日本語を話す・聞くレベルが不十分な学生もおり、それを補うため、実際の日本語レベルに応じて日本語の補修、授業の補講を行っております。</p> <p>(7.) 介護福祉学科への留学生増加により、ご質問にありますようなキャリアビジョンを持つ学生がおります。</p>

【基準4 学習成果】

4-13 就職率 / 4-14 資格・免許の取得率 / 4-15 卒業生の社会的評価

質問
<p>【委員】</p> <p>(1.) 4-13-1</p> <p><質問></p> <p>下段の特記事項より、外国籍（留学生）の就労先確保の問題とあるが、卒業後日本で福祉職での就職を希望する留学生の就職率は何%か？</p> <p>(2.) 就職が決まらない学生は全体の何割位ですか。</p>

<p>(3.) 同窓会の事態把握は現在他に実施されておりますか。</p> <p>(4.) 外国籍、留学生の転職先確保における具体的取組と課題について教えてください。</p> <p>(5.) 外国籍学生の就職先を増やすことは今の時節柄かなりご苦労されていると思いますが、理解者を増やすためにどのような努力をされていますか。(基準5 学生支援にも課題として明記されていますが・・・)</p>

回答
<p>【学校】</p> <p>(1.) 100%です。</p> <p>(2.) 2019年度は全体で6%でした。</p> <p>(3.) 実施しておりません。これまで学校としては同窓会の主体性を重んじ、会報誌発行のサポートを行ってまいりました。ただ、「卒業生は学校の財産」と捉えており、卒業生ネットワークを活用できていないという認識も持っております。OB・OGとの情報共有やつながりのあり方については、ご意見を頂きたく存じます。</p> <p>(4.) 福祉法人・医療法人との連携を強化し就職先を確保しております。 留学生は学費工面が必要な方が多く、就職先が法人保証人となり東京都の修学資金(学費サポート制度)を利用するケースが増えております。 留学生の増加に伴い、受け入れ先となる法人のさらなる連携強化、及び新規開拓が課題です。</p> <p>(5.) 専任担当を配置し、福祉法人・医療法人との連携・開拓を進めております。特に23区内の施設は、留学生の受け入れに対して消極的なケースが多く、留学生へのネガティブイメージを払拭するための情報提供を行っております。</p>

【基準5 学生支援】

5-16 就職等進路 / 5-17 中途退学への対応 / 5-18 学生相談 / 5-19 学生生活 / 5-20 保護者との連携 / 5-21 卒業生・社会人

質問
<p>【委員】</p> <p>(1.) 留学生の利用率はどの位ですか。</p> <p>(2.) コロナ禍において経済的支援の紹介等は行っておりますか。</p> <p>(3.) 保護者との連携は(高卒者の場合等)どのように行っておりますか。</p> <p>(4.) 同窓会の参加率・学校行事や公開講座のインフォメーション等は一斉メール配信等を活用してみたいかでしょうか。</p> <p>(5.) 様々な分野で活躍している卒業生との交流会(同窓会とは別枠)をできないでしょうか(同窓会は規模が大きすぎるため、学科単位で例えば授業に講師派遣する等)</p> <p>(6.) 5-17 退学率について何%か? そもそも入学時のミスマッチはないのか? キャンパスソーシャルワーカーの配置を検討していますか?</p> <p>(7.) 留学生の指導記録は個別に存在しますか。</p> <p>(8.) 進路変更の理由で退学の申し出がある場合、既に次の進路先が決まっていらっしゃる場合が多いのでしょうか。</p>
回答
<p>【学校】</p> <p>(1.) 留学生の進路相談については、入学前に卒業後の進路を決めているため、0%となります。</p> <p>(2.) 適用される制度については、ホームページへの掲載、対象者にメール連絡、学内掲示板への貼り出し、直接声掛けするなど、紹介に努めております。</p> <p>(3.) 今年度は保護者会を実施しておりませんが、学生個別に対応しております。</p> <p>(4.) 卒業生の個人情報を学校が保持し続けることは個人情報保護の観点から難しい面があります。もしオススメの方法があればご教示頂きたく存じます。</p> <p>(5.) ぜひ実施していきたいと考えております。</p>

(6.) 令和元年度の退学率は6.8%でした。入学時のミスマッチは多少なりとも存在します。昨年までは学生相談課を設けておりましたが廃止し、学園経由で外部カウンセリング企業と連携をはじめました。

(7.) 存在していません。留学生への指導は各教員それぞれが対応するものの、全体として情報が統合されていなかったため、今年度より学生情報の一括管理システムの導入に至りました。

(8.) はい、退学を申し出る時点で次の進路が決定しているケースは多いです。

【基準6 教育環境】

6-22 施設・設備等 / 6-23 学外実習、インターンシップ等 / 6-24 防災・安全管理

質問

【委員】

(1.) 6-24-2

<質問>

(評価時点以降になるが) 令和2年度になり、新型コロナウイルス感染拡大防止のガイドライン等は作成されたか。

(2.) 経年劣化に伴う補修や入れ替えはどんな機器ですか。

(3.) 経年劣化に伴う長・中期補修計画は出来ておりますか。(予算との関係)

(4.) 留学生の受け入れで増加する諸問題とはどのようなことでしょうか。

(5.) 学生に対しての災害時の連絡網はどのようにしておりますか。

(6.) 学生に対するコロナ対策について、教育環境の質や学生生活の充実の担保をしつつ、どのように取り組まれているのか教えて下さい。

回答

【学校】

(1.) 敬心学園として作成致しました。

(2.) 今年度はプロジェクターやスクリーンを入れ替えました。次年度は教職員、及び学生用のPCをリプレイス予定です。

(3.) 次年度は高田校舎の熱中症対策として屋上遮熱トップコート塗布工事を実施予定です。長期的には、介護福祉学科の関連設備の改修、学生ラウンジの整備、大教室改修、耐震設備の点検(必要に応じて改修)です。

(4.) VISAの申請(更新)、生活面の指導の他、日本語能力に応じてクラス分けを行い、学習面のフォローアップをしやすい体制にしたものの、現状で効果が見られない部分です。

(5.) 学校専用のG-mailアドレスを配布し、安否確認の際にも利用するよう案内しております。

(6.) 対人援助の専門職としての資質担保、学力向上、中退抑制を目的に、原則として対面授業を実施しております。授業実施においては、座席間の距離を空ける、定期的に換気を行う、マスクを着用する等、新型コロナウイルス感染防止を最優先しております。

【基準7 学生の募集と受入れ】

7-25 学生募集活動 / 7-26 入学選考 / 7-27 学納金

質問

【委員】

(1.) コロナ禍において特に大変なことは何ですか。

(2.) 入学試験には幾つかの方法がありますが比率は設けておりますか。

(3.) コロナ禍による交付金、助成金の紹介は行っておりますか。

回答
<p>【学校】</p> <p>(1.) ZOOM を活用（併用）した説明会や AO 面談の立てつけまでが大変でした。</p> <p>(2.) 設けておりません。</p> <p>(3.) 適宜、行っております。</p>

【基準 8 財務】

8-28 財務基盤 / 8-29 予算・収支計画 / 8-30 監査 / 8-31 財務情報の公開

質問
<p>【委員】</p> <p>(なし)</p>
回答
<p>【学校】</p> <p>(なし)</p>

【基準 9 法令等の遵守】

9-32 関係法令、設置基準等の遵守 / 9-33 個人情報保護 / 9-34 学校評価 / 9-35 教育情報の公開

質問
<p>【委員】</p> <p>(1.) 9-34-1 <確認> 「課題」の全文「自己評価によって～チェックされていない。」 → 事実なのか？</p> <p>(2.) 9-34-3「課題」のうち、 <確認> 「外部委員が主体となった推進すべきであるが…」 →昨年度（令和元年度）より、委員会当日に先立ち、外部委員による事前評価が行われ、外部委員が議長となり、委員会の進行を行っている。主体性が足りないという意味か。</p> <p>(3.) 9-34-3「課題」（引き続き） <意見> 「外部委員が学校が設置する委員会に“参加する”図式が否めない」 →学校は委員会を設置し、外部委員は学校が設置する委員会に参加し、事前資料と事前評価を基に、限られた時間の中で意見を述べるのが役割である。 <確認> 「学校側も、本評価を誰がどのように受け止め、推進するかという、責任の所在が希薄である」 → 事実なのか？</p> <p>(4.) 現在までに大きな問題となって対応したケースはありますか。</p> <p>(5.) 改善項目の長中期・単年度と計画を立案して実施はどのようなのですか。</p> <p>(6.) 情報公表に対して問い合わせ等がありますか。</p>
回答
<p>【学校】</p> <p>(1.) これまで自己評価・学校関係者評価を実施してきたが、炙り出された改善点に対しアクションに繋がられていない部分があり、事実です。</p> <p>(2.) 学校側が外部委員に対して情報提供できていなかったことを反省点として挙げました。外部委員の取り組みについては問題ございません。毎回ご協力頂き感謝申し上げますとともに、(1.)にあるように活かしきれていないことを申し訳なく思います。</p> <p>(3.) 事実です。そのため、執行体制を整えました。</p>

(4.) ございません。ただ、勉強会を実施できていないことを改善点と捉えております。

(5.) 中期計画をたて PDCA サイクルを回して取り組んでおります。

(6.) ございません。

【基準10 社会貢献・地域貢献】

10-36 社会貢献 地域貢献 / 10-37 ボランティア活動

質問

【委員】

(1.) 活動内容は学校のホームページなどに紹介しておりますか。

回答

【学校】

(1.) 行っておりません。

2020年度学校関係者評価報告に対する委員コメント

～【感想・意見】篇～

【基準1 経営理念・目的・育成人材像】

1-1 理念・目的・育成人材像

コメント
(1.) 1-1-2 <意見・感想> 「今後の改善方策」外部委員に対して総合的に情報提供し、時に実際に見学していただくなどの透明化の確保 → 委員として、可能な限り協力したいと思います。
(2.) 理念及び人材の育成は今後も継続して下さい。
(3.) 教育課程編成委員会は社会、業界の情勢が教育に反映できるように先駆的に取り組んでほしいです。
(4.) 「修学実践」、「応能接心」の教育理念のもと、入学から卒業後までしっかりと5つのチカラで学生をサポートしていく視点がすばらしい。

【基準2 学校運営】

2-2 運営方針 / 2-3 事業計画 / 2-4 運営組織 / 2-5 人事・給与制度 / 2-6 意思決定システム / 2-7 情報システム

コメント
(1.) 行動指針を敬心クレドとして教職員室に掲示、常に見える化は非常に効果的で継続して下さい。
(2.) 中期計画と単年度の予算・事業目標を確りと明示して方向性を共有していることは良い。
(3.) 事業計画は定期的に検証されていることで全職員の意識改革につながっていると考察します。

【基準3 教育活動】

3-8 目標の設定 / 3-9 教育方法・評価等 / 3-10 成績評価・単位認定等 / 3-11 資格・免許取得の指導体制 / 3-12 教員・教員組織

コメント
(1.) < (基準3全般の) 感想 > 1. 各国家試験における、高い合格率の継続を図っていただきたい。 2. 介護福祉学科における、特別講師招聘制度の継続・発展を期待したい。
(2.) 遠隔授業で教育活動そのものは継続できている一方で、質的には対面授業と同等の双方向コミュニケーションはとれないことから変化が生じていると思われる。教員にとっても、一方的な録画作成による授業では目標とした内容を展開しにくいと思われる。
(3.) 学術研究発表会は学生のモチベーションにも繋がるので今後も継続して下さい。(新規開拓も含めて)
(4.) 国家試験対策は計画的に実施されて、結果は合格率に反映しているので今後も継続してほしい。(入学者獲得にもつながります。)
(5.) 職員に研究と教育の両立が奨励されていることを評価します。研究成果は必ずや授業にも生きてきますので継続して下さい。
(6.) 国家試験の高い合格率は貴校の「売り」であり、高い評価を業界で得ていると思います。優秀な卒業生による特別授業を多く取り入れることは、現場での理解を深めると共に、就職のマッチング機会につながると思いますので、積極的に進めていただければと思います。

【基準4 学習成果】

4-13 就職率 / 4-14 資格・免許の取得率 / 4-15 卒業生の社会的評価

コメント
(1.) 合格率が全国トップクラスを今後も継続して下さい。(新規入学の増加に繋がります。)

(2.) 対人援助の学習支援は是非今後も継続して下さい。

【基準5 学生支援】

5-16 就職等進路 / 5-17 中途退学への対応 / 5-18 学生相談 / 5-19 学生生活 / 5-20 保護者との連携 / 5-21 卒業生・社会人

コメント

(1.) 5-18-1

<意見・感想>

留学生や、メンタル面や生活困窮等の問題を抱える学生が増加する中、支えている側の教職員の負担が年々大きくなっていると思われる。多忙な中でできる限りのことは適切に行っていると考えます。

(2.) 専任カウンセラーの配置をすることで、専任教員の負担軽減だけではなく、専任教員の相談員としての機能を支えたり学校全体に問題や情報を共有するためのマネジメントの役割ができるとおもう。現在は個々に対応している問題の全体像を学校としても把握しやすくなるのではないのでしょうか。

(3.) 履歴書の書き方や面接の指導は是非継続して下さい。

(4.) 作成しているPDCAサイクルを活かした対応を実践して下さい。

(5.) 専任教員を相談員として活躍できる強みを今後も活かして下さい。

(6.) 学生の経済的側面の支援体制は、学校独自の奨学金制度と併せて充実されていると思います。

【基準6 教育環境】

6-22 施設・設備等 / 6-23 学外実習、インターンシップ等 / 6-24 防災・安全管理

コメント

(1.) 【基準6全般として】

<意見・感想>

評価時点（令和元年末）では、適切に対応していると考えます。

(2.) 新規実習先の開拓は大変でしょうが継続して続けて下さい。

(3.) AEDは消防署に来て載って定期的の実施すると効果的です。

【基準7 学生の募集と受入れ】

7-25 学生募集活動 / 7-26 入学選考 / 7-27 学納金

コメント

(1.) 【課題7全般として】

<意見・感想>

評価時点においては、少子化と、令和元年度末から影響を受けたコロナ禍という悪条件の中、適切な対応のもと、学生募集がされたと思います。

今後社会福祉学科の募集停止により、高卒の入学者の割合が、さらに少なくなる。高卒者の入学が可能な介護福祉学科については、卒後の専門職大学への編入学や他の学科、専門学校への再入学等の推進・あっ旋により、学士や、他の資格の取得をめざせるようにするなど、法人（敬心学園）全体で対応、連携する必要があると思います。

高卒後、福祉・医療に関心があるものの、即大学進学へと踏み込めない高校生を受け皿として、介護福祉学科がその役割を担えると思います。

(2.) 入学前プログラム、事前学習の充実は、入学後の学力や退学の問題に対応するうえでも一定の役割を担うのではないかと期待します。

【基準8 財務】

8-28 財務基盤 / 8-29 予算・収支計画 / 8-30 監査 / 8-31 財務情報の公開

コメント

(1.) 【基準8全般として】

<意見・感想>

適切に会計管理が行われていると思います。

一部の学科の募集停止に加え、コロナ禍の影響により財務状況がさらに厳しいと考えられる。本校だけでなく、法人全体が一丸となって財務上の難局を切り抜けられるよう、取り組んでいただきたい。

(2.) 収支の安定は学生の入学人数に左右されるので他にない先駆的な取り組みもコスト意識に繋がりますので継続して下さい。

(3.) 法人全体で確りと実施されていることを評価します。

(4.) 事業計画沿った資金計画が確りとできています。

(5.) 学校法人として財務体制が適切に整備されています。

(6.) 公認会計士による外部監査、監事監査等を行い適正に管理されています。

【基準9 法令等の遵守】

9-32 関係法令、設置基準等の遵守 / 9-33 個人情報保護 / 9-34 学校評価 / 9-35 教育情報の公開

コメント

(1.) (P60～62)

<意見・感想>

情報セキュリティ、個人情報等の流失防止に関し、教職員に対する研修は実施するべきです。(システム上だけでなく、紙ベースによる流出防止も重要。)

(2.) 法令遵守に沿って研修は継続的に実施して下さい。

(3.) 社会情勢からも、個人情報の漏洩については早急に対応フォローチャートの作成に取り組んで戴きたい。

(4.) 自己評価後、PDCA改善に向けた方向性に期待します。

(5.) ハラスメント防止のため、社会保険労務士等の協力を得て研修を行なうのも一つの方策です。

【基準10 社会貢献・地域貢献】

10-36 社会貢献 地域貢献 / 10-37 ボランティア活動

コメント

(1.) <意見・感想>

本校そのものが地域の社会資源の一員であります。新宿区と豊島区における地域共生社会の実現に向け、当該区の社会福祉協議会への協力や、認知症カフェ等の活動を継続していただきたい。

(2.) 認知症カフェを通して地域との繋がり貢献度を高く評価します。但し、カフェの内容がマンネリ化にならないように工夫して下さい。

(3.) コロナ禍で大変ですが実践で地域との関わりを学ぶことが出来るので「としまベンチプロジェクト」活動は継続して次にバトンタッチが出来るように継続してほしいです。

(4.) 社協や豊島区、町会とのつながりが薄い印象を受けました。

(5.) 常に学生、卒業生の資質向上のために、様々な取り組みを行っていることが理解できました。